

どんぐりむらのぼうし屋さん

記入者 年中体育



ある日の外遊び、パティオの木のテーブル上にずらっとどんぐりが並んでいました。よく見てみるとひとつひとつのどんぐりに顔が描かれています。

「こんなにたくさんどうしたの？」と子供たちに聞くと、「どんぐりむらのぼうし屋さんだよ！」と教えてくれました。以前、先生にお部屋でどんぐりむらのぼうしやさんの絵本を読んでもらった子供たち。幼稚園に落ちているどんぐりで、自分たちでもどんぐりむらのぼうしやさんを再現して遊んでいました。

小さなどんぐりに真剣に顔を描き込んでいきます。「お母さんどんぐり」や「お父さんどんぐり」や「ひとつ目小僧どんぐり」なんてものなど…可愛らしいどんぐりが並んでいきます。

「これは小さい帽子だから赤ちゃんのだね！」「こっちはふさふさでおしゃれな帽子！」と、いろいろな種類のどんぐりの帽子をかぶせ、絵本の世界を自分たちで作り、そこに入り込んで楽しんでいました。

自分たちで顔を描いたどんぐりはいつもよりなんだか愛着があるようで、袋いっぱい詰めて満足気にお部屋に戻って行きました。

秋ならではの遊びを子供たちなりの目線で楽しんでいる姿は、とても微笑ましいものでした。これからはどんな遊びを見つけていくのか、楽しみに見守っていきたいと思います。